

セミナー番号	テーマ	講師
A - 144	<p style="text-align: center;">部下・後輩の成長を引き出す ティーチング・コーチング研修</p>	村田 義明

上司としての自身の個性やリーダーシップスタイルを率先して把握することで、マネジメントにおける自身の得意領域や強みが明確になります。さらに、システムシンキングの視点から部下の行動を捉え直すことで、その背景にある心理や動機をより深く理解することができます。このように、自分自身の特性と部下の心理の両面を認識したティーチングとコーチングを実施すると、その場からマネジメントの質は着実に向上していきます。

第1部 ティーチングとコーチングとは？

- ①プロローグ
- ②ティーチングとコーチングとは？
- ③効果の高いティーチングとは？
- ④効果の高いコーチングとは？
- ⑤ティーチングからコーチングへの切替え
- ⑥離職率の効果について (30分)

第2部 あなたのリーダースタイルは？

- ①自己診断によるスタイル認識をしましょう
- ②スタイル毎の強みと弱みを認識しましょう
- ③日本人が偏りやすいタイプはどれか？
- ④各タイプの成功例、失敗例を認識しよう (30分)

第3部 必要なシステムシンキングの認識

- ①システムシンキングとは？
- ②部下の行動を誤認しない力を持つ
- ③物事の現象と原因を認識する必要性
- ④上司部下に必要な同じ要素とは？ (30分)

第4部 実践

- ①ティーチング・コーチングの実践です。
- ②ティーチングフェーズ、コーチングフェーズを捉える力を持つ
- ③組合わせたアプローチ実践力を持つ (30分)
- ④エピローグ